

# スロット台外部集中端子板専用検査測定器

## ラインスキャナーⅡ



### 取扱説明書

#### ■目次■

1. 使用前の注意事項
2. 対応集中端子板
3. 本体パーツ及びセッティング
4. テストモード及び試行方法
5. その他の機能

#### ■作成者■

有限会社 MKサポート  
大阪府堺市堺区一条通 13-16 松利ビル 6F  
TEL 072-226-2022 FAX 072-226-2024  
<http://www.mksupport.jp>

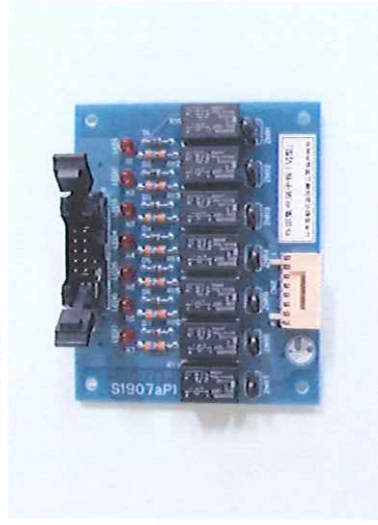
## 1. 注意事項

- 本機は必ずこの取扱説明書を最後まで読んでから使用して下さい。
- 本機はスロット台の外部集中端子板をテストするもので他の用途には使用できません。
- 本機でのテスト結果は可能性であり最終的な判断を示す訳ではありません。よって本機のみでの結果で遊技台の販社等へのお問い合わせはご遠慮下さい。
- 本機で全ての外部集中端子板を検査できる訳ではありません。次項の検査可能な外部集中端子板に限ります。
- 本機は営業中には使用できません
- 本機の使用の際は必ず遊技台の電源はお切り下さい
- 本機の使用で外部集中端子板のコネクターを脱着しますがその際、破損には十分気を付けて下さい。万が一破損しても保証は致しかねます。
- 外部集中端子板には駆動電圧に違いがあります。本機の使用モードに24V系と12V系があり検査対象の外部集中端子板に合わせて使用して下さい。外部各集中端子板の駆動電圧は次項を参照して下さい。誤って使用すると破損の恐れもあります。
- 本機を利用してナンバーランプやホールコンピュータ等のデータチェックを行なう場合は各機器の仕様を十分理解した上で使用して下さい。
- 今後の動向や外部集中端子板の使用により使用できない場合やバージョンアップ（有償）が必要な場合も有ります。
- 本機の使用の際に発生したあらゆる故障や破損に関しては一切保証できません。
- 本機の性能に関しての保障は一切行っておりません。

## 2. 検査可能な外部集中端子板

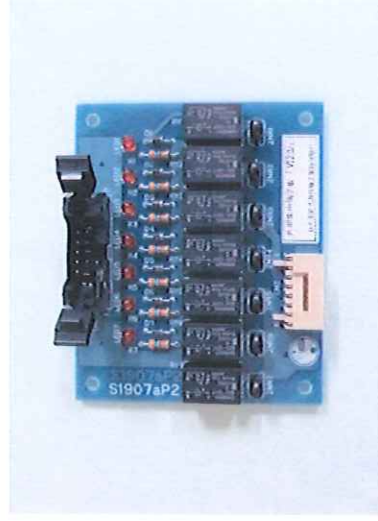
※オプションハーネスは近日発売予定です

標準ハーネスで検査可能



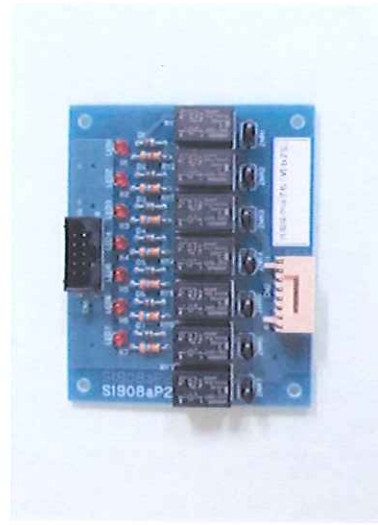
V I 型

駆動電圧 2.4 V



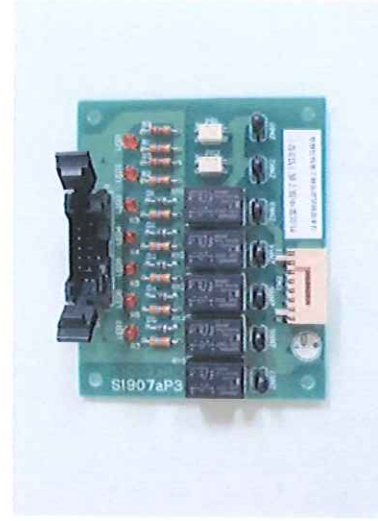
V I 2 型

駆動電圧 2.4 V



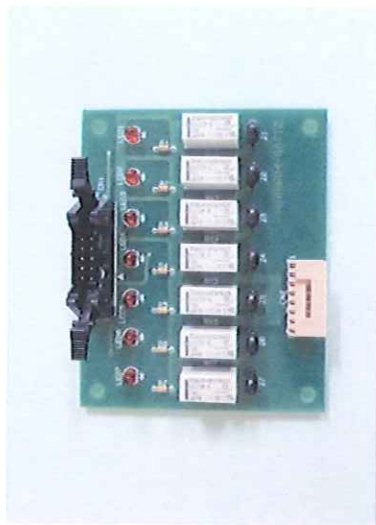
V I b 2 型

駆動電圧 2.4 V



V I 3 型

駆動電圧 2.4 V



ユニバーサル系型

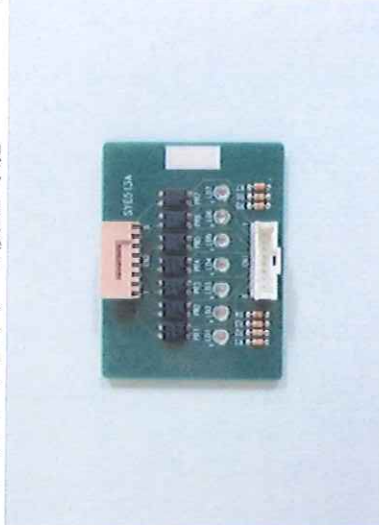
駆動電圧 1.2 V



S N K 型

駆動電圧 2.4 V

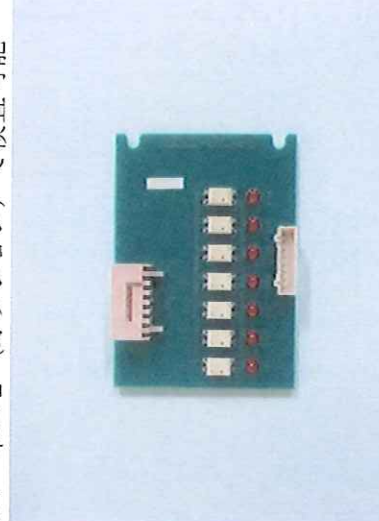
特殊ハーネス 1 (オプション) で検査可能



三洋型

駆動電圧 1.2 V

特殊ハーネス 2 (オプション) で検査可能

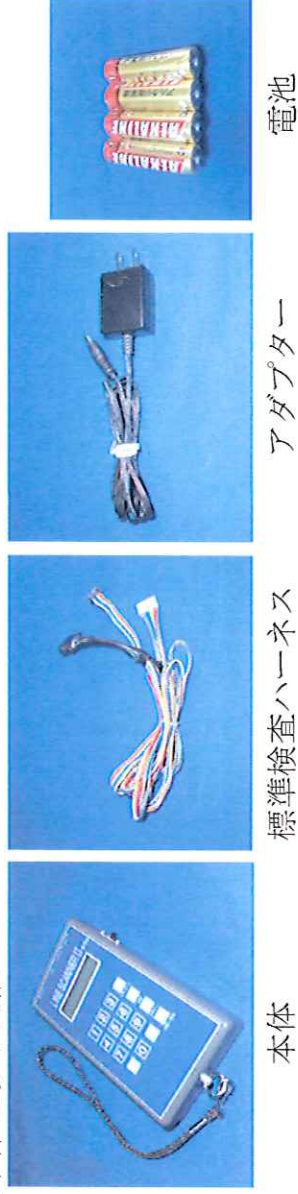


京楽型

駆動電圧 1.2 V

### 3. 本体パーツ及びセッティング

#### ①本体セット内訳



#### ②電源 本機の電源はアダプターか電池で使用可能です。

電池を使用する場合・・・裏の蓋を開けて電池をセットして下さい。



電池使用の場合は表示通り **上側**で**ON**です



アダプター電源は**下側**で**ON**となります

←写真の位置にアダプター電源を差し込みます

※電池とアダプター併用の場合はアダプターのコネクタを抜いて電源を切って下さい。

#### ③標準検査ハーネスの接続

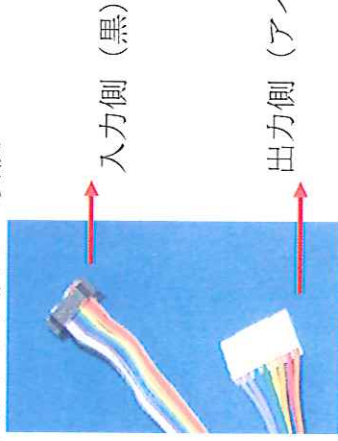


←上部接続部に奥までしっかりと差し込んで下さい。



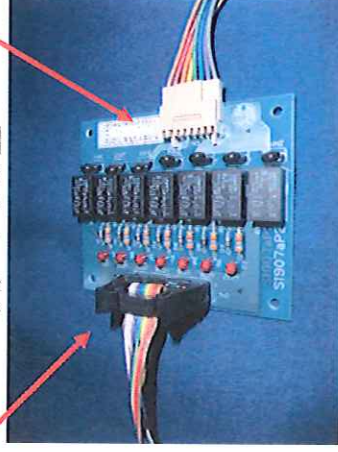
←保護フィルムは剥がれます

#### ④外部集中端子板との接続



入力側  
出力側

例) V I 2 型



検査ハーネス側コネクタを外部集中端子板に差し込みます

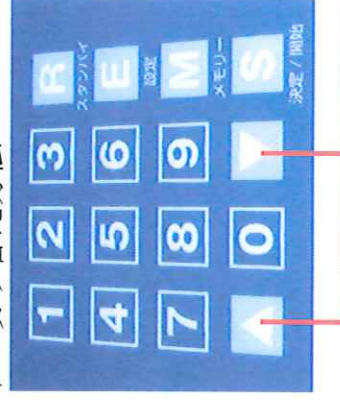
#### 4. テストモード一覧

24V系と12V系を事前に十分確認してから試行して下さい

本機では下記テストモードを装備しています。必要に応じて試行します。

No	名称
01	24V CHECK
02	24Vテスト 50G
03	24Vテスト 100G
04	24VテストB+300P
05	24VテストB+500P
06	24Vテスト 300P
07	24Vテスト 500P
	以上24V系
11	12V CHECK
12	12Vテスト 50G
13	12Vテスト 100G
14	12VテストB+300P
15	12VテストB+500P
16	12Vテスト 300P
17	12Vテスト 500P
	以上12V系

#### モードの切り替え方法

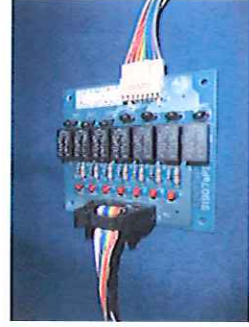


電源投入後バージョン表示経過後に

△キーで次モード

▽キーで前モードへ移行します。

01 24V CHECK



写真のように外部集中端子板にハーフネスを接続後

[S] 決定/開始ボタンを押すと検査が始まります。

約15秒後に下記検査結果画面が表示されます。

11 12V CHECK

本機の基本的な検査モードです

① I = 最初の2桁が IN 信号の応答速度 OFF⇒ON

次の2桁が IN 信号の応答速度 ON⇒OFF

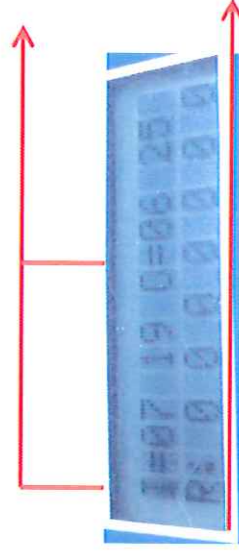
O = 最初の2桁が OUT 信号の応答速度 OFF⇒ON

次の2桁が OUT 信号の応答速度 ON⇒OFF

(当社独自の数値)

③ 7つの基板上的リレーテスト結果を個別表示します

通常は左から I N・O U T・ボーンス (REG) 等・ボーンス (BIG) 等・その他・その他・扉等の7信号です。(機種により変わります)



## 数値目安とエラー音

- ① I= 応答速度 OFF⇒ON 応答速度 ON⇒OFF  
0= 応答速度 OFF⇒ON 応答速度 ON⇒OFF

何れかに24以上の数値が表示される場合は再チェックや別のモードでの計数チェックをお勧めします。計数チェックで問題がなくなるとも誤差コイン発生時に明確な原因が見つからない場合には参考にして下さい。

- ② 7桁計数欄 0は異常なし  
1は応答速度遅延で計数異常の可能性あり  
2は開放速度遅延で計数異常の可能性あり  
3は1と2両方の現象で計数異常の可能性あり

この項目で1つでも異常があるとエラー音を発します。  
埃などの原因でコネクタの接触不良も考えられますのでコネクタを  
確認しての再チェックをお勧めします。また環境や温度等で値が変化する  
場合もあります。

1番目 (IN) 2番目 (OUT) の異常については誤差コインの原因となる  
恐れがあります。3番～7番目の異常に関しては特に問題ない場合もあ  
ります。何れにせよ他のモードにて周辺機器へ正しく信号が出力されてい  
るかご確認して下さい。

エラー例)

2番目 (OUT) 信号が2を表示  
アウト信号の応答速度 ON⇒OFF の  
数値も高い



エラー音が出力される場合は外部情報端子板の交換をお勧めします。

**R** スタンバイ キー を押すと元の画面へ戻ります

02 24Vテスト 50G 12 12Vテスト 50G

03 24Vテスト100G 13 12Vテスト100G

主にナンバーランプの特賞中獲得枚数表示と比較します。



遊技台の外部集中端子基板へ本機の出力線  
(黒コネクタ) のみを接続し、  
ナンバーランプやホールコンピュータと  
比較します。  
本機の入力線に繋ぎ変ええると本機との比較  
チェックとなります。

ボーナス信号 (4番目) を引きながら IN・OUTへ計数出力します。  
IN枚数3枚毎にOUT枚数15枚を出力し、ゲームを疑似消化します。

50Gの場合は

ナンバラーランプの獲得枚数が600枚を表示すれば異常なしです。  
この時のホールコンピュータ計数は IN 150枚で  
OUT 750枚です。

100Gの場合は

ナンバラーランプの獲得枚数が1200枚を表示すれば異常なしです。  
この時のホールコンピュータ計数は IN 300枚で

OUT 1500枚です。

このテストを試行する場合はナンバラーランプの仕様をよくご確認下さい。  
対応しない場合もあります。対応しない場合は本機の入力信号と接続し  
てテストして下さい。



本機でのテスト結果表示

上段が本機の出力行号数  
下段が本機の計測行号数  
一致しないとエラー音が出力

04 24Vテスト B+300P

14 12Vテスト B+300P

05 24Vテスト B+500P

15 12Vテスト B+500P

接続の要領は前項目と同じです。

主にホールコンピュータとのデータと比較します。

ボーナス信号を引きながらIN・OUTへ同数の信号を出力します。  
信号数は300と500パルスが選択できます。

本機の入力線に繋ぎ変えたと本機との比較チェックとなります。



上段が本機の出力行号数  
下段が本機の計測行号数  
一致しないとエラー音が出力

06 24Vテスト 300P

16 12Vテスト 300P

07 24Vテスト 500P

17 12Vテスト 500P

前項と同じですがボーナス信号は出力されません。

## 5. その他の機能

①本機は一定時間異常キー操作がない場合に電池の消耗を軽減する為画面に



と表示されます。[S] スタンバイを長押しで解除されます。  
電源の入り切り切りでも解除されます。

②本機出力パルス幅の変更

本機のテストモードは周辺機器が計測され易いよう、初期値は全て40msの  
パルスで出力されます。(テストモード01と11は初期値30ms)  
必要に応じて変更が可能です  
変更方法

まず試行したいテストモードに変更します (01 11以外)

[M] メモリー キーを押します

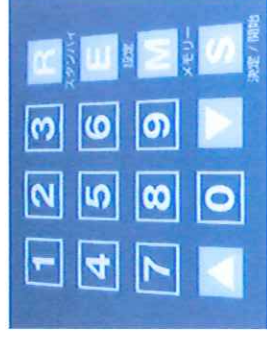
画面に **MEMORY SELECT** と表示されます

△キーで45が表示され以後+5で増加します  
(最大100)

▽キーで35が表示され以後-5で減少します  
(最小15)



例) 30msに変更



変更したい数値になれば [R] スタンバイ キーを押します。

テストモードを試行して下さい

※テストモードを変更すると自動で40msに戻ります。

③メッセージ

**デンアツ イジヨウ**

テストモード01にて12V系の外部集中端子基板を繋いでいると  
出力されます。他のモードでは出力されないので電圧は事前に十分  
確認して下さい。

**System Error  
Please Power Off**

何らかの原因で上記メッセージが出る場合は電源を入れ直して下さい。  
何度も出る場合は故障も考えられます。販売元へご相談下さい。